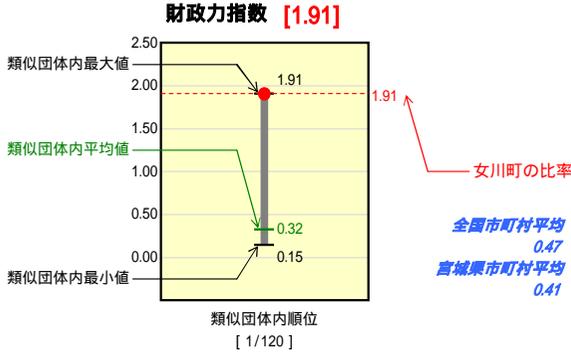


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

宮城県 女川町

人口	11,079人(H17.3.31現在)
面積	65.79 km ²
歳入総額	8,861,478千円
歳出総額	8,613,209千円
実質収支	243,219千円

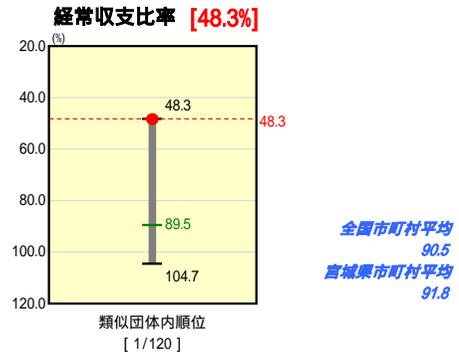
財政力



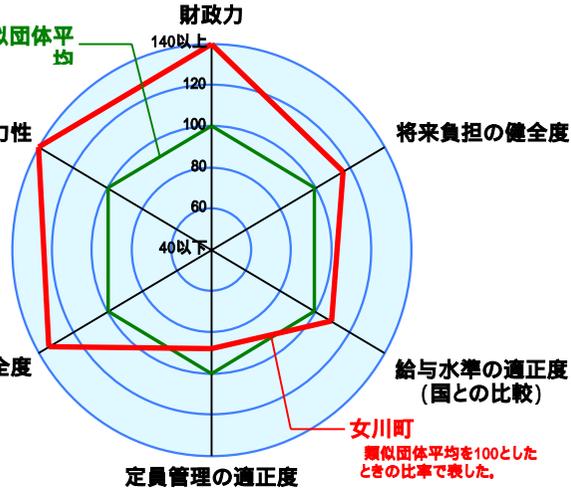
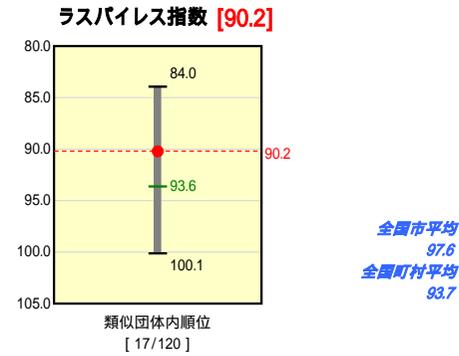
将来負担の健全度



財政構造の弾力性

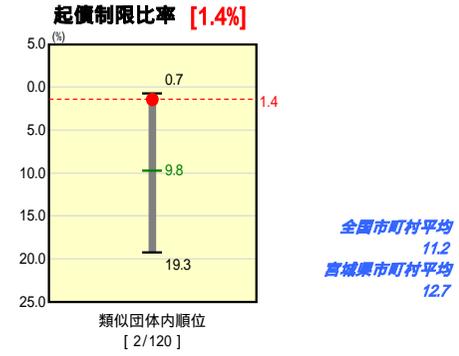


給与水準の適正度(国との比較)

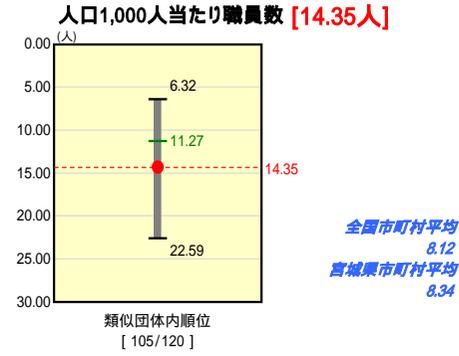


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

- 財政力指数**
- 原子力発電所立地町であるため、類似団体平均を大きく上回る税収があるので1.91となっている。今後は、税収の大幅増の要因となっている固定資産の償却資産分が年々減少していくため、指数は低下の一途をたどることになる。
- 経常収支比率**
- 原子力発電所3号機が運転を開始したために、税収における固定資産の償却資産分の大増により、一時的に48.3%となっている。今後は、その減収に伴い比率は上昇していくことになる。
- ラスパイレス指数**
- これまで行政改革大綱に基づき、満55歳以上昇給停止、退職時特別昇給の廃止、特殊勤務手当の見直し及び時間外勤務手当の縮減等を実施し、給与の適正化に努めるとともに、総人件費の抑制を図ってきたところである。
- 起債制限比率**
- 起債抑制策により類似団体平均を下回っている。引き続き水準を抑えるように努めていくものである。
- 人口1人当たり地方債現在高**
- 起債抑制策により類似団体平均を下回っている。今後も地方債の発行を極力抑制していく必要がある。
- 人口1,000人当たり職員数**
- 地理的条件等により、他自治体よりも公共施設等が多くあり、類似団体と比較してもかなり多くなっているが、今後職員の大量退職を迎えることを踏まえ、計画的な職員数の抑制に取り組み、本町第3次定員適正化計画の最終年度である平成22年度までには、現在の職員数より約5%の削減を目指すものである。